



第一礼拝次第

メッセージ：郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「さあ賛美しよう」 「その愛よりも」	会衆	
聖書朗読	コリント第一4:1~5	司会	
祈禱	(新約聖書 p303)	〃	
賛美	130	会衆	
メッセージ	「神の秘められた奥義」	牧師	
祈禱		〃	
賛美	新生363	会衆	
献金			
報告			
頌栄	新生672b	司会	
祝禱		牧師	



第二礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師

聖書：ヨナ書4:1-11 (旧約聖書 p1447)

メッセージ：「ヨナとイエス」

プレイズ：「主イエス様の恵み」「主の栄光宮に」

賛美：新生214 新生300



ファミリー礼拝

メッセージ：渡真利千佳子姉

聖書：マルコ15:21~41

メッセージ：「あらわになった神」

<巻頭言>

棕櫚 (しゅろ) の主日

牧師 郭永東

今日から受難週に入ります。受難週はイエス様が十字架につけられて亡くなるまでの最期の一週間を覚え、イエス様の苦難と犠牲、そして愛を覚える週です。特に、今日はイエス様がエルサレムに入城する棕櫚の主日です。イエス様はこの日ロバに乗ってエルサレムに入城され、人々は服を道に敷き、木の枝を振りながら、「ダビデの子にホサナ。主の名によって来られる方に、祝福があるように。いと高きところにホサナ。」と叫びました。(マルコ21:9) 旧約に預言されたゼカリヤ9章9節の御言葉が実現されたのです。

しかし、ユダヤ人たちはその前もホサナを叫びながら歓迎したことがあります。ギリシャ時代エピファネスという王がユダヤ人を迫害し、神殿を冒瀆した時、マカバイ家が革命を起こし、神殿を回復しました。その時、人々はイエス様を歓迎するように戦争で勝って帰ってくる兵士たちを迎えながら、ホサナと叫びました。ですからユダヤ人たちがイエス様をホサナと迎えた理由は、マカバイ家のようにイエス様が今ローマの圧政からイスラエルを回復させると期待して歓迎したのです。

イエス様はローマの圧政からイスラエルを救うために来られたのではなく、それより大きな神様の約束を成就するために来られたのです。その約束とは、「あなたを救い、回復させること」です。神様の絶対的な愛を考えるこの一週間となることを祈ります。